

## 「第22回渋谷・鹿児島おはら祭」開催概要

- 【開催日時】 5月19日（日）12:50～16:10（小雨決行）  
※「鹿児島焼酎&ミュージックフェス」、「さつまの物産展」、「渋谷・鹿児島の観光案内」は、18日（土）も開催
- 【主催】 渋谷・鹿児島おはら祭実行委員会  
（渋谷区、鹿児島市、渋谷区商店会連合会中央ブロック、NPO 法人渋谷・鹿児島文化等交流促進協議会）
- 【後援】 鹿児島県、東京商工会議所渋谷支部、鹿児島商工会議所、一般社団法人 渋谷区観光協会、公益社団法人 三州倶楽部、関東鹿児島県人会連合会、鹿児島市関東交友会
- 【実施内容】 「おはら祭踊りパレード」[会場／渋谷道玄坂・文化村通り]  
5月19日（日） 12:50～ 祭開始太鼓打ち  
13:00～ 開会式  
13:20～ 第1部 踊りパレード  
14:25～ 第2部 アトラクション（若者の踊り・太鼓演奏）  
14:55～ 第3部 踊りパレード  
※第3部のパレードでは、「飛び入り連」もありますので、どなたでもご自由に参加いただけます。

### 「第22回渋谷・鹿児島おはら祭」同時開催イベント

「鹿児島焼酎&ミュージックフェス」…鹿児島から蔵元が渋谷に大集結。心地よいサウンドと本格焼酎に酔いしれる2日間。

日時：5月18日（土）11:00～17:30、19日（日）11:00～17:00

場所：代々木公園ケヤキ並木

「さつまの物産展」…さつま揚げ、焼酎等の鹿児島の特産品を販売

日時：5月18日（土）・19日（日）10:00～18:00

場所：東急百貨店渋谷本店正面口

日時：5月18日（土）・19日（日）10:00～17:00

場所：ユニクロ渋谷道玄坂店前

日時：5月18日（土）11:00～17:30、19日（日）11:00～17:00

場所：代々木公園ケヤキ並木

日時：5月19日（日）12:30～16:00

場所：渋谷シネタワー前

「渋谷・鹿児島の観光案内」

日時：5月18日（土）10:00～17:00、19日（日）10:00～16:00

場所：渋谷ハチ公前広場

日時：5月18日（土）11:00～17:00、19日（日）11:00～16:00

場所：東急百貨店渋谷本店正面口

<渋谷・鹿児島おはら祭に関するお問合せ先>

渋谷・鹿児島おはら祭実行委員会 実施本部 TEL：03-3373-7381

<鹿児島焼酎&ミュージックフェスに関するお問合せ先>

渋谷区役所 商工観光課 TEL：03-3463-1762

## なぜ渋谷で「おはら祭」を開催するの？

渋谷と鹿児島は、歴史的に深い縁のあることから、文化等の交流の一環として 1998 年から開催されています。また、2000 年に「鹿児島市及び渋谷区災害時相互応援に関する協定」、2017 年に「鹿児島市・渋谷区 観光・文化交流協定」を締結しています。

### ◆鹿児島出身の東郷平八郎のルーツは渋谷にあり

日本海海戦で知られる鹿児島出身の連合艦隊司令長官、東郷平八郎元帥を祀る東郷神社が渋谷にあります。これは渋谷が東郷元帥の祖先の地だからという所以があります。12 世紀、渋谷一帯は相模の国の豪族・渋谷氏が所領していましたが、源平合戦の功により薩摩の地に所領を得て、五つの家に分かれ、その一つが東郷家であったといわれています。東郷平八郎元帥の没後、1940 年に元帥のルーツの地である渋谷に東郷神社が建てられました。



桜島と東郷平八郎銅像

### ◆西郷隆盛が通った「西郷どんの馬車道」

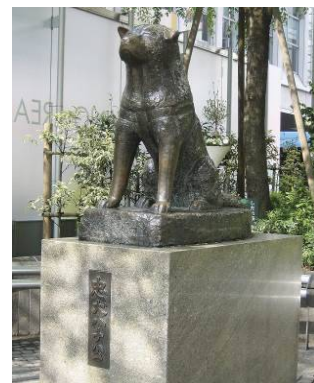
西郷隆盛の弟で明治の功臣・西郷従道の住まいは、南平台に近い目黒の青葉台にあり、現在、西郷山公園となっています。従道の館には兄の隆盛や大山巖もしばしば駐留しており、兄弟は館を出ると馬車で鶯谷町と桜丘町の境を抜け、渋谷、青山通りを経て中央官庁に通っていました。当時この道を「西郷どんの馬車道」と呼んでいました。



西郷隆盛銅像

### ◆ハチ公の生みの親は鹿児島出身の彫刻家

渋谷のシンボル「忠犬ハチ公」。このハチ公の銅像を造ったのが、鹿児島出身の安藤照氏であり、鹿児島市にある西郷隆盛銅像の作者でもあります。渋谷の住人で大の犬好きであった氏は、1934 年にハチ公の銅像を建立しました。現在のハチ公銅像 1948 年に再建されたものであり、照氏の子息で彫刻家の安藤士氏の作品で、いわば 2 代目ハチ公銅像になります。



忠犬ハチ公銅像

### 「おはら祭」～名前の由来～

おはら祭の名前の由来は、鹿児島の代表的な民謡「おはら節」から来ています。この民謡が生まれた一節として、江戸時代の初め、日向国・安久（今の宮崎県都城市）の武士が陣中で唄った唄を、鹿児島の原良（ハララ）の武士が、帰国後、歌詞を作って歌い始め、それが鹿児島一円に広がるにつれ、原良に「お（小）」が付いて現在の「小原良（オハラ）節」と呼ばれるようになったといわれています。おはら節踊りの振り付けには、桜島の形や煙が表されています。